



ビヨンセやAIといった、R&Bの香りがする音が好きだが、美しい、女性らしいコーラスが身上。残念ながらインディーズデビューとなるCDがレコーディング中のため、詳しいデータをご紹介するのに間に合わなかったが、まずはオフィシャルサイトを、「ろっくんプラザ」で、この週末も彼女たちは元気に唄っている姿を見られるかもしれない。



BRIGHT ブライト

NAGI (左端)・MI-MI (中央左)・NANAKA (中央右)・MEG (右端) の4人からなるコーラスグループ。前身は「子スベラズ」という可愛らしい名前のユニットだった。女3人寄れば…、しかもミドルティーンで、4人で、全員が関西出身となれば「かしましい」を通り越して「パワフル」。京都を中心にストリートライブなどを展開中。

<http://www.bright-online.net>

PPS

POWER PLAY SOUND
Music is moistened our life. Tasteful album is here.
We'd like to find your recommended one.

recommended 01



乾いた唄は魚の顔にもうどいい

／森山直太郎

UNIVERSAL MUSIC 1800円

オーディションで選い、プロダクションに入るきっかけになった曲が「さくら」だった。衆人環視のもと大舞台で披露した。歌い終わった後、滅多に泣かないMEGが泣いたほど。そんな思い出を彼女らは「あの唄は良かった」なんて言うのだろうか。

recommended 02

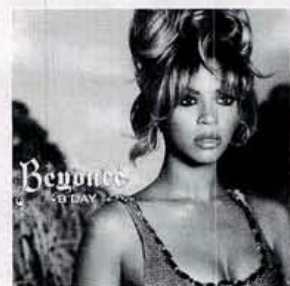


THAT'S WHAT FRIENDS ARE FOR

／Dionne Warwick

ディレクターからの課題曲で、披露したが「感動しない」と酷評され、4人で歌の意味を話し合い、後に担当者を泣かせるほどになった成長の道標。エイズ救済基金のため、S・ワンダー、E・ジョン、G・ナイトと競演した珠玉の名曲は涙腺一致。

recommended 03



B'DAY

／Beyoncé

Sony Music Japan 2520円

'98年デビューのDestiny Childも、ソロになったビヨンセも、後にエポックとして語られるリアルなミュージックシーンだ。同じ目線で見てきた彼女らにとっても、新たなR&Bを知ることができるとしても感慨深いチャイムである。

七色で終わらない、あふれ出る虹のように。 決して消えない、シャボン玉のように。

週末になると時々、「ろっくんプラザ」や「device.cafe」[park]あたりで彼女たちは元気に唄っている。既に熱心なファンもいるグループであり、平均年齢15歳。「この4人でやるようになって、もう3~4年になります」。まだそんなもの？と思うが、何しろ平均年齢が15歳である。既に人生の1/4はコーラス・ユニットとして生きてきたのである。

「テレビの歌番組を観て、『あああんな風に踊りたいなあ』って。つい最近のことのようだが、彼女たちにすれば立派な事始めであり、彼女らに出会うことで、リアルなミュージックシーンを我々は目撃しているのだ。

揃って大阪のヴォーカル&ダンススクールに通い始めたことについて、「ダンスの方が芸歴は長いんです」と、見事に声を揃える。芸歴…。「すみません、関西丸出して(笑)」と、またカラカラ笑う。

後にR&Bの匂いのする洋楽を聴くようになり、何度も何度も聴くうちに、ライブ盤のフェイクの違いやミスティクまで聴き分けるほどになった。恐らく耳が良いのだろう。歌唱力に大きく関わる要素だ。少女と言える若さとはいつ

ても、今は唄うことが立派な仕事で、「音楽で生きていきたい」という気持ちが4人を支えている。評価も批判も成長の糧だと、楽しみにも、覚悟もしている。

酷なような気もしたが、これから先の話、人生の終わりに後ろを振り返ったときに、自分たちの歌がどんな存在でありたいか、を訊いてみた。さすがに少し、神妙に皆考え込む。「何だろう？」…。「何か、溢れる感じ。虹みたいに冷静な色も情熱の色も、いろんな色が混じって、それがモクモクっと泡みたいに溢れてくる感じ」「あ、シャボン玉！次から次から湧いてきて、一曲一曲が輝いて、みんなの手元に飛んで届く！」「ちょっと待って、シャボン玉って、消えてまうやん！」…。

そんな風に若い頭脳はどんなイメージも会話も広げて、そして続いていく。スタートがどこであったかも、いつか忘れてしまうかもしれないけれど、それが「走り続ける」ということで、それは今しかできない貴重なことだ。

皆さん、消えないシャボン玉になればいいんです。それはきっと、不可能じゃないから。